

12/24 動労千葉青年部が12月24日定期委員会を開く

80年代の激動を切りひらく、動労千葉第2回青年部定期委員会が、12月24日、御宿町・外房荘において開催された。本年初頭、千葉地本防衛青年行動隊結成以来の激闘と躍進の一年間をがっちり確認し、折からの政府・国鉄当局の不当処分攻撃策動に怒りをもやし、35万人体制攻撃粉砕への先制的・攻撃的闘いにうって出ることを満場一致確認したのである。同時に70年代後半の全ての闘いの局面の最先頭に立って指導し動労千葉青年部運動の今日を築き上げてきた吉野青年部長・宮内副青年部長体制に替って、激動の80年代に勇躍と立ち向う若々しい力を結集した新常任体制をうちたて、田中康宏新青年部長(津田沼・検修・24才)が、「不当処分粉砕から80年へ突進しよう」との力強い第一声を発し、全委員は直ちに職場にうって返し、28日からの「不当処分粉砕へ」万全の闘争体制構築にうって出たのである。

一年間の苦闘に真向から敵対する「不当処分」断じて許すな！ 青年部総決起を宣言！

前泊で結集した委員、傍聴者がぎっしりつめかける中、8時20分、開会。

吉野青年部長より、なにもものにも屈しない強靱な労働者魂をわがものとしてきたこの一年間の激闘をふりかえり、更に80年代勝利への突破口を青年部の実力によってきりひらこう、との決意をこめたあいさつがおこなわれた。

裏切り分子追及の日常行動を青年部活動の一つの軸として創意こらして担っていくこと。

4・11や4・17など、「本部」革マル反動分子の露骨な暴力的襲撃を全く不問にした上で、アベコベに被害者である我々に対して罰金刑やデッチ上げ不当処分策動をする革マルと一体となった権力・当局の今回の攻撃は明らかに政治的な弾圧だ。

津田沼の検修職場に当局は、ピラ貼りその他の組合活動を裏切り分子を口実に、規制しようとの姿勢が政策的に強められている。35万人体制のかなめになっている検修合理化強行のための新マル生攻撃がはじまっているという位置づけでこれと闘う事が重要だ。

今回の処分「減産闘争への処分」という数年來なかつた攻撃を復活させる動きがある。かつての厳しい弾圧下で、必死にがんばって一ミリつつかちとってきた苦闘の教訓を再度ほり起し、減産闘争の地平を必ず守り通していくこと。などをはじめとし、「青年部を中心とした船橋・習志野地区共闘前進の教訓」「自衛隊の硫黄島軍事基地建設とるりムバック」環太平洋合同軍事大演習への反対闘争について「本部」裏切り分子との長期戦に勝ちぬき遂に竜崎氏復帰をかちとった新小岩での闘いの教訓、「整備民託問題」

粉砕攻撃組織で団結の強固な家族・組合員全

「E0転換・転勤問題について」「青年部ヘル問題」などこの一年間の職場での青年部活動の活性化を反映した生き生きとした討論が時間いっぱい展開され、80年代を切り拓く方針が確立された。なお、委員会には本部から関川委員長、動労ジェット闘争支援共闘代表、千葉県青年共闘代表が来賓あいさつにかけつけたほか、三里塚反対同盟・部落解放同盟・県労連傘下ならびに、全国の支援労組の多くの単産青年部、文化人からの連帯メッセージ・機電がよせられた。

27日の不当処分通告に怒りを叩きつけ、全ての青年部員は28・29・30日断乎たる闘いの先頭に立ちとう！

若さあふれる新常任体制発足！

青年部長	田中康宏	24才	検修係	津田沼
副部長	吉野幸成	31	"	幕張
書記長	繁沢敬一	22	電運士	千葉転
常任委員	江沢修	30	"	勝浦
"	戸村英男	29	"	成田
"	長田敏之	21	検修係	蘇我
"	外山義章	21	"	木更津
"	加瀬豊	20	検修	幕張
会計監査員	中村晶夫	29	機関士	新小岩
"	福原克己	29	電運士	館山
"	石井正明	21	検修係	津田沼

12/24 インタビュー

動労千葉の35支部各支部分科結成、いらいらしたけれど、結果として一〇〇% 団結署名をもって結成大会が出来てよかった。「本部」の組合員に訴える。なる情報は逆に支部の団結をかためることになったらしい。蘇我支部・46才・機関士